※本様式は住民票と家庭調書に記載の家族人数に相違のある場合にのみ提出してください。

# 家族人数に関する申立書

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

家庭調書には、同居・別居を問わず、「申請者と生計を一にする者」全員を記入してください。原則、同居の場合は、「生計を一にする者」に該当します。

同一住所の住民票の人数と生計を一にする家族人数が異なる場合は、下記にその理由を記載してください。（ただし、本人や兄弟姉妹が一人暮らしをして学校に通学している場合は、住民票の住所が家計支持者と異なっても「生計を一にする者」として扱うので、本様式に記載する必要はありません。）

なお、該当する方の氏名・続柄及び住所も併せて記載してください。

A）同一の住所に居住していても「生計を一にする者」ではない場合

例：○住民票は同じであるが、実際は別居・独立している兄弟姉妹等（１０月から就職し、別居予定の場合など）

○祖父母世帯と二世帯同居等であるが、生計を完全に別にしている場合

B）同一の住所に居住していなくても「生計を一にする者」と扱う場合

例：○別居している祖父母等を扶養している又は祖父母等から援助を受けている場合

○父母又は父母に準じて家計を支えている者が、勤務地の関係で別居している場合

○病気療養等のため、施設や病院へ入院中又は一時別居している場合

記

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の内容に相違はありません。　　保証人氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

（※申請書（P11）に記載した保証人）